

ミンク岡山情報

中国民放クラブ
岡山支部
2014. 04. 14

歩こう会春の例会

備前福岡を歩く

歩こう会平成26年度春の例会は瀬戸内市長船町の備前福岡の町を散策しました。

備前福岡は武士を捨てた黒田官兵衛の曾祖父が近江国から移り住み、後に黒田家の再興を成し遂げる礎を築いた町として知られ、NHKの大河ドラマ「軍師官兵衛」の放送開始でいま注目を集めています。また中世には福岡の市で西国街道一の賑わいを見せた商業の町として栄えた歴史を持ち、その面影が今なお残っている町でもあります。

例会には26名が参加、赤穂線の長船駅から田んぼの中をのんびりと歩いて30分足らずで福岡の町に着きました。大地主が住んでいた大邸宅を改築して公開し、福岡観光の拠点となっている仲崎邸を振り出しに黒田官兵衛の曾祖父、黒田高政のお墓がある妙興寺や福岡の市跡、街の防災を兼ねて掘られた七つの井戸、備前福岡の歴史を伝える郷土館などを訪れました。

今、福岡の町おとしに大勢のボランティアが活躍中で、今回は地元のアさんの案内で町の隅から隅まで丁寧に案内していただきました。



東西南北の広い

道路で町割りをされた沿道のあちこちに古い家並みが残る風景を心ゆくまで楽しんできました。

この日は午後から雨の予報で、雨を覚悟の例会でしたが、幸い長船駅に帰り着くまで雨も降らず、ツキに恵まれた例会でした。

歩こう会幹事 谷本保夫

山城に登ったぞー！

RSK・OB 妹尾信秀

”中途半端”が看板の私がめずらしく目標を完全に達成できた件がある。それは「山城登り」。退職後、山陽新聞刊の「岡山の城」に載っている三十九の城全部に登ってみようと思いつき、春・秋の気候の良いシーズンに一つ一つと登って来た。三十九の内訳は備前十三、美作十、備中十六で、延べおよそ十年かけてこの全部へ登り終えることができた。

”城”といっても天守閣のあるのは岡山城と松山城（高梁市）だけで、殆んどは中世の山城。平地なので登りなしの備中高松城や十分く十五分で登れる乙子城・沼城（岡山市）、一方標高七五六、四mで二時間近くかかる矢筈城（津山市加茂）などもあるが、殆んどは二百〜三百mくらいで、一時間から一時間半もあれば登れる。

山城は戦略上街道を押さえられる所にあるので、あまり山奥ではないがいずれも急峻。喘ぎながら、迷いながら頂上にとどり着いても建物は何も無い。あるのは本丸、二の丸、土塁、堀切り、石垣、井戸などの遺構が散在するだけ。しかし樹々を渡る風の音や小鳥の声を聞きながら、遺構を探し、戦国時代のあれこれに思いをはせると登りのしんどさも忘れてしまう。そして展望のきく場所を見つけて食べるニギリメシの味は又格別。



私の場合、自由気ままに実行できるのでもいつも単独行。ある朝起きて天気は良く、その気になれば出かける。すべて日帰り、県北なら一日かかるが、県南なら半日でもOK。登山口近くの街道に車を止めて登る。

域で可能な限りいい作品を目指したい、と思っている。それに関連して写真について、最近嫌な思いをしたことがあり、いまだに心の中にあるわだかまりを捨てきれないでいる。

私の住む家の近くに岡山藩主池田家の菩提寺「曹源寺」がある。春夏秋冬、その荘厳な佇まいに魅せられて、何回といわず訪れている。毎月一日の朝は、大勢の修行僧が寺を出発して托鉢に出かけるのが恒例の行事になっており、遠く近くに、托鉢僧の経を唱えて歩く声が聞こえてきて、ああ今日は一日であったな、と知らされるのが常である。

托鉢僧の姿を、近所や街中で見かけることはあっても、その姿を写真に撮ろうと思ったことは、これまでに一度もなかった。

たまたま本年3月1日は、写真同好会講師の柴奥先生から勧められて、初めて、托鉢僧の立姿を収めるべく曹源寺に向き、山門から総門に至る行列、寺を出て近所の家の門前で経を唱える托鉢の姿など、私としてはそれこそ、懸命にカメラのレンズを向けていたのである。

そのとき、である。行列の先頭にいたリーダーと思しき僧が行列から離れて私に近づいてきて、「カメラを向けるのは、予め許可を取ってからにして欲しい。無断で私達の姿を写されるのは不愉快である。自分が写される側になったらどう思うか」など、かなりひつこく苦言を呈したのである。態度は高飛車、口調は詰問調であった。

「分かりました」と答えたのだが、「分かりました、ではない。謝って欲しい」とまで言っていて、ようやく立ち去って行った。

そもそも托鉢行為とは、寺の中で行われる諸々の修行行為とは違って、寺の外に出て、家々の門前でお経を唱え、何がしかの志をもらって歩く修行の一つであり、れっきとした社会的行為の一つではないのだろうか。

もし私が、街中で見かけた可愛い子ども姿にカメラを向けるときがあるとすれば、その子どもを連れて

写真一枚と言えども

松田通男(RSK・OB)

ミンク岡山「写真同好会」に入り、すでに2回のグループ展にも作品を出品し、退職後始めた水彩画と合わせて二つの趣味を持つことになった。どちらも興行きが深く、文字通り駆け出しのアマチュアの域にとどまり、間違ってもそれ以上に進むことはない、その

保護者にひとこと「よろしいでしょうか」と断りを言うから撮影する最低の礼儀は心得ているつもりである。

それにしても、人にカメラを向けるときには、どういうシチュエーションであれ、最大の配慮を怠らさず、いや、花のひとつにレンズを向ける場合でも、「撮らせてくれてありがとう」と感謝の心を持つようにしたい、と今は思っている。

それはそれとして、長年にわたり身近かな存在であった曹源寺が、私の中では一気に遠い存在になったことも付け加えておきたい。

映画「ペドロスの母に会いに行く」と森崎東監督

RSKOB 妻井 令二

▼母が一〇一才で逝って、やや自分の時間が自由になり、昔の映画狂癪が少し蘇ってきた。認知症介護に向き合う「家族の会」岡山県支部のモットーである“明るい介護ぶり”という触れ込みに誘われて映画館に足を運んだ▼名画である。キネマ旬報の二〇一三年度作品のベストワン、毎日映画賞第二位の優秀賞が贈られる。長崎県在住の漫画家岡野雄一氏の体験のエッセイ漫画が原作。長崎弁自体と童謡「早春賦」も主役でもある。八十八歳の赤木春恵の初めての主演映画で、認知症になった母親役を見事に披露▼監督はこれも長崎県出身の「男はつらいよ」シリーズも撮った喜劇の巨匠と称される森崎東。八十五歳。実はこの時、監督自身アルツハイマー病と告知されていたという。この映画の撮影時の模様を二〇一三年十二月二十一日「NHK-ETV特集」が取材・放送している。題名は「記憶は愛である」森崎東・忘却と戦う映画監督」。彼の壮絶な個人体験をおさえて収録した秀作だった▼「最近、ものを考え始めると頭が痛くなって…」と語りながら、斉藤助監督等手勢のスタッフに助けられて撮り上げている。「昨日、どこまで撮ったかは覚えていない」と言う状況の中で：▼そしてこの作品の後

終戦の翌日三重の士官学校で割腹自決した兄の「心の彷徨」を問う作品を撮り始めている。生涯の心のしこりとして残る出来事をまさぐるように▼認知症になっても、戦争・原爆・兄の自決・家族・夫々の人生のテーマに挑む森崎東の意思の力がすさまじい。

(公益社団法人 認知症の人と家族の会・岡山県支部会報「ほーればーれ三月号から」)

登山と写真の

RSK・OB 井垣武彦

①【登山】以前に十年間余り所属していたマウンテンクラブの登山仲間が三月九日(日)大山で遭難、最高峰の剣ヶ峰(二、七二九メートル)近くで命を落とした。三人の内、リーダーを務めていたと思われるペテランのF氏と



は、県内や近隣の雪山に何回も一緒に登った仲だっただけに、まさかの事態に心を痛めました。今年も雪の

月八日(土)の前日に明日出掛けようとしていたが、晩になってもう一度天気予報を確認すると、以前の予報から悪い方へずれて晴天が望めなくなってきたため行くのを断念し、もう少し先に延ばす事にした。その矢先、悲しいニュースを耳にして家族や周りからもブレイキが掛けられ、今年は登るのをあきらめて下から写すことに切り替えた。

三月二十二日(土)晴天、相棒(妻)と二人で奥大山スキー場の駐車場から鍵掛峠まで雪道を歩いて入り、大山南壁の遭難現場を見上げて合掌。F氏と登った雪山の思い出が次々によみがえってきました。

②【写真】「民ク写真同好会」と「ギヤノンフォトクラブ岡山」の皆さんと一緒に写真を楽しんでいきます。

「ギヤノンフォトクラブ岡山」では、毎月の例会で作品を持ち寄り、会員の投票と東京本部の先生(プロ写真家)の評価で写真の腕を磨いています。年間の採点合計で昨年度は第一席に選ばれ本部から受賞、これを励みにこれからも頑張りたいと思っています。

③【パソコン】「民ク・パソコン勉強会」の皆さんとの新しい情報交換で勉強を続けています。現在、「ウインドウズ・ビスタ」ノートを愛用していますか、近所の仲間のパソコンで「ウインドウズ8.1」の操作も大分慣れました。趣味と実用とを兼ねて、皆さんと楽しみたいと思っています。

パソコン雑感

インターネット・メール担当 若槻匡志

パソコンはただ持っているだけでは宝の持ち腐れで、毎日使って価値があります。

長く使わないとアップデート(OS、アプリケーション、セキュリティ等の更新)が遅れて次第に調子が悪くなります。つまりネットを通じての外からの肥しと消毒が切れると衰弱していきます。使うほどに磨きがかかる道具でもあります。

しっかり使って高価なマシンの元をとりましょう。



基地の中鳥は自由に沖繩忌

章九

OHKOB 行本章九

これは一昨年の六月、地元の茶屋町句会へ出かけたもので当時、指導されていた先生から「基地に苦しむ沖繩の人の気持ち伝わります」という評をいただきました。このとき先生は基地問題に曖昧な沖繩県の仲井真知事の批判もされました。

先生は昨年一月、黄泉の国へ旅立たれましたが奇しくも先生の一周忌となったこの一月、普天間から辺野古への基地移設に「ノー」と審判した名護市民の民意を無視して、仲井真知事と政府は移設を押し進めようとしています。

花鳥諷詠を重んじる俳句ですが、金子兜太師(現代俳句の重鎮)の「どす利かせ政権はあり二月かな」(朝日俳壇)に代表されるように、時事俳句もまた俳句です。

「極月の八日忘るな軍靴の音」章九 反戦平和を込めて昨年十二月に詠みました。

「会員便り」支部総会出欠はがきから

(在職局名の「元」および内容の一部を省略させていただきます)

九十歳になりましたがお陰で元気で毎日プール通いをしています。(青木豊 RSK)

昨年暮れ以来体調をこわして入退院を繰り返している始末。ご盛會を祈ります。(赤木雄児 RSK)

今年七月で満八十五歳。止せばいいのに今年もぶどうつくりを始めています。完投できるかどうか、頭はもういやと言っているのに、手が勝手に動いている。

困ったものです。(菅原俊郎 RSK)

放水会の楽しい行事に参加させて頂きながら、総会を失礼しまして申し訳ございません。私は家裁の少年

事件に関わり活動しています。民放クラブのご発展をお祈り申し上げます。(井口三貴子 RSK)

観劇、音楽・映画鑑賞等々好きなことをしています。やはり健康第一！時々ジム通い。(伊藤嘉之 RSK)

今から四年前新車を購入し2020の番号にした。その年予期せぬ病で入院手術したので、あと十年は元気になりたいという願い。一九六四年国立競技場でオリンピックを観戦したあの感動を再び体験したいという夢。ところが年末の大掃除で腰を痛めて海外旅行を二つもキャンセルしてしまっただけ。二十年ぶりの腰痛にMRIまで撮ったが、この年では医者も何もしてくれません。そこで私が行っているスポーツクラブで特別メニューのリハビリを約一カ月毎日続け完治しました。四月は野菜作りのスタート、五月には海外旅行と忙しくなります。(井上正博 RSK)

一日、一週間、一ヶ月、一年の経過が早く対応にオタオタしています。特別に何かをやっているわけではないのですが・・・これからも健康に気をつけながら、釣り、ゴルフ、etcに励んでいきたいと思えます。(井上義明 O HK)

〇無沙汰しております。今だ現役として頑張っております。仕事が落ち着き時間がゆつくり取れるようになります。出来る日を楽しみにしております。(入野和生 O HK)



備前焼作家森陶岳さんの寒風新大塚の映像記録、平成二十五年度分の整理中です。(岩崎巧 山陽映画)

山陽新聞カルチャープラザで三つの朗読の講座を受け持っています。二年に一度程度朗読会を開いて

います。今年は五月十一日(日)アークホテルで葉室麟の「橘花抄」田辺聖子の新源氏物語より「葵祭車争いの場」サトウハチローのおかあさんの詩など三十九人が出演します。今大詰めのレッスンに明け暮れています。(石見邦慧 RSK)

月の内十四日はデイサービス・ショートステイに行つて、皆様と話したり体操したりと楽しく過ごしています。体に気をつけてマイペースでボチボチの生活です。(上野元始郎 RSK)

〇無沙汰しております。〇盛会をお祈りします。(大倉徹彦 RSK)

八十路に入り、体力気力の衰えを感じるようになりました。日常は相変わらず岡南大橋のたもとで家業の煙草屋をしながら、テレビを見たり、パソコンを操作したり、来客相手に世間話をして過ごしております。(大野明 RSK)

地域の役職で結構多忙な日々を過ごしております。(岡田克己 RSK)

近隣の高齢化が進んでいます。血縁より地縁を大切にしようといういろいろやっています。(小椋正誠 RS K)

元気にしています。正月に娘夫婦と一緒にパリまで行つて来ました。(尾島一正 RSK)

津江市の北東部、旧勝北町で那岐の山脈を見ながら暮らしています。殊の外厳しかった冬も終わり花の季節へ・・・畑仕事もぼつぼつ始動。衰えてきましたが、これも長生きした結果、愚痴は言わず、生かされている事に感謝。欲を少なくし、淡々と生かされ続けたいと思うこのごろです。(織田照男 RSK)

四月より一年間町内会長として何かと忙しくなりそうです。体力確保のためミンクのゴルフコンペには何としても参加したいと思えます。(笠間範一 RN C)

当日はやむを得ない所用のため欠席させていただきます。お蔭様で元気に過ごしております。果樹園の手入れも頑張っています。盛会をお祈りしております。(梶谷正夫 RSK)

妻の特養入所で少し余裕が出来たのも束の間、〇〇型肝炎救済全国センター、医療生活協同組合、常設クラウンドゴルフ場の新設等々、世直しボランティアの活動レポーターが拡がってしまい、息抜きのゴルフもままならない状況です。さらに四月からは新薬を併用した〇型肝炎治療に(インターフェロン使用通算は十年)挑戦する事にしました。かなりの副作用も考えられ、総会は欠席させていただきます。(加藤紀臣 RSK)

元気で第四コーナーを回っております。(亀田敦夫 RSK)

頸椎症で右肩が自由に動かず、好きなゴルフが出来ないのが残念です。(亀山寿志 RSK)

早いものでもう定年後十年が過ぎ去ってしまいました。退職してから健康づくりとしての裏山に登つて帰る毎朝一時間の散歩。今朝も六時に家を出て、頂上近くの広場(標高130m位)でラジオ体操をし、山道に咲いている紫のスミレ(満開)、ピンクのツツジ(三ノ割咲)、アケビの白い花、つくしやわらび、タラの芽等の山菜等々季節の移ろいを感じながら、健康で居られる事に感謝しつつ、自然を精一杯楽しんでる毎日です。(川上弘道 RSK)

それなりに老いながら小遣は保っています。この所親族の弔事が重なり、運転免許証返上の身を残念がっています。不便利です。今日総社へ通夜、明日葬儀、先週土曜日は江津市(島根)へ法忌に行つたばかり。十四日は定例内科チェックの日のため欠席します。三月二五日記(川崎裕幸 RSK)

「クックパッド」とにらめっこしながらキッチンに立っています。後期高齢者と呼ばれると急に老けた気分になるのは不思議です。断捨離も終活もおっくうです。終活も 優柔不断で 白寿越え。(菅田一郎 RSK)

必要に迫られてノートパソコン(ウインドウズXP)からNECのタブレットに変更したので、今は操作方法を習得中です。尚古希を過ぎてから少しずつ体調に変化が出て老いを感じるようになりました。(木

口重雄 RSK)

雑本を読み、雑音楽を聴き、少々車を運転し、時々料理をする。平凡な日々を過ごしています。(絹田雄一郎 RSK)

福建省赤岸鎮から陝西省西安まで約六千キロ走行。空海入唐の道を写して来ました。(木下勲 RSK)

時は 朝寝のしたき 生活かな(木村英一郎 RSK)

健康に留意し平凡に暮らしています。(桐野展行 RSK)

せっかくノンビリして、再度本気でゴルフをはじめようと意気込んでいたのですがズルズル！声を掛けて頂ける内が花だそう、もうしばらく皆様にご迷惑をおかけしますが、今年一年もよろしくお付き合い下さい。(久米田真志 RSK)

体調不良のため欠席させていただきます。(甲田敏明 RSK)

月十五日の勤務ですが、ポスターデザイン・似顔絵制作など忙しくしています。似顔絵は七百人制作しました。(小坂仁士 RSK)

お蔭様です。元気で過ごしております。皆様と一緒に行動できる事はありがたい事です。(小谷清 RSK)

癒しのバラ園と夢のマイホームのハウジングプラザで心地よく忙しくしています。先輩方も遊びにお立ち寄り下さい。5月3、4日はハウジングプラザにブラキオザウルスがやってきました。お孫さんと一緒に。(小西弦 RSK)



今年も花粉症になり鼻水の止まらない毎日です。家庭菜園の作付け中でジャガイモを植えつけました。四月中旬にはキュウリ、ナス、トマトを植付ける予定です。(佐藤晃一 O H K)

家事その他家族奉仕で元気にやっています。(白石脩 R S K)

相変わらず、社交ダンス(競技ダンス)三昧です。でもなかなか勝てませんね。(杉原尚示 R S K)

お世話になります。公的会合が重なりまして(欠席申し訳ありません)(須々木壽志 R S K)

この七月で満八十二歳になります。この歳まで生かされていること、しかも健康であることに感謝感謝の毎日です。ゴルフもまだ続けており、長年100を切ることを目標にして来ましたが、今年これを95に切り上げました。果たして達成できるかどうか?末期高齢なれど頑張ります。(妹尾信秀 R S K)

相変わらずひまつぶしとボケ防止のため映画のロケ地を訪ねる”シネマ散歩”を続けています。(鷹取洋二 O H K)

ごく平凡な毎日を過ごしています。特にと言え、一反の畑を借り、果樹野菜の栽培で忙しく、これから毎日です(ぶどう、桃、いちじく等)。皆様方は各所へ出向かれておられますが、残念ながら各種行事に出席できず大変失礼しております。(高原敏夫 R S

K)

テレビせとうち(株)岡山本社に今少し籍を置いております。〆盛会をお祈りいたします。(高森敏夫)

妻と二人で海外旅行を楽しんでいます。最近ではハワイ、ニュージーランド、ベトナム、カンボジア等旅しました。世界遺産や観光地を巡っています。土日午前中は地域の仲間とテニスで汗を流しています。(高谷昇 R S K)

今年も傘寿です。戦災遺族会や町内会のボランティアをしながら、毎日元気に過ごしています。最近認知賞にせいか、人の名前、地名、漢字等々がすぐ出てこないことが多く、スマホで辞書を引いたり、メモ帳の利用が多く、孫が使っていた社会科地図等が手放せなくなっていますが、健康第一に人生を謳歌しています。(竹内秀男 R S K)

岡山県立博物館友の会に入会して八年になります。

この会は岡山県の歴史と文化に関心を持つ人たちの集まりで、様々な企画を立案したり実施をして楽しくすごしております。ミンク岡山の歩こう会の幹事を引き受けて七年目を迎えますが、これまでに歩いた春秋の例会の散策コースはすべて博物館友の会の活動の中から生まれたものです。近況報告を兼ねてのタネ明かしです。(谷本保夫 R S K)

失礼しております事お詫びします。岡山に居る日、時間が少なくなってきました。(田村孝夫 R S K)

相変わらず早起きテニス(毎朝六時〜)ゴルフの打ちっ放し(週三〜四回、スコアは落ちる一方です)朝夕の犬の散歩(三十分〜四十分)土日は孫のお付き合いの四点セットで毎日退屈することなく一日が過ぎていきます。一方病気の方も人並みに白内障、腰痛、肩痛、高尿酸症と加齢によるものといえ病院に世話になっていきます。何はともあれ生き

ている間は元気に過ごしたいものです。(対梨久嗣 R S K)

今年も楽しい企画を期待しています。(辻川登喜子

O H K)

四月一五日から下記に住所変更しますのでよろしく。TEL206-3876 〒700-0812 岡山市北区出石町1-10-6 (坪井茂夫 R S K)

所用日程入りのため残念ながら欠席させていただきます。〆盛会を祈念しております(妻井令三 R S K)

釣り、農業、写真を楽しんでいます。(戸田啓司 R S K)

年寄りの話し相手や子供の登下校の見守り等、地域のボランティア、元気にやっています。(富岡謙一 R S K)

変形性膝関節症との付き合いは十五年になる。近年はゴルフプレイジにはサポーターが必要だが、日常生活にはさほど問題はない。

ところが、今年に入り右手首に激痛が走るようになり整形外科を渡り歩いた結果、手首関節の軟骨が変形して、膝関節と同様な状況で、握力は落ち、タオルも絞れない状況で生活にも支障をきたしました。夜は鎮痛薬を塗り、手首から手の甲を覆うサポーターを装着して就寝する始末である。ちなみに、女房も膝関節症が悪化し、関節包に水が溜まり、注射器での吸出しが困難となり、遂に手術を勧められ、近日常入院して壊れた軟骨を削りとりとなった。夫婦で関節症と闘っております。(富山捷彦 R S K)



くたばらずになんとか生き抜いています。先約と重なりましたので欠席します。盛会を期待しています。(豊田新一 R S K)

引き続き囑託としてラジオの仕事をしています。

(中尾俊直 R S K)

月の過ぎるのは早いもので定年から二十年。九月には満八十歳。老人会の会費も免除になりました。十三〜十六日まで九州地方へのドライブを計画していますので、残念ながら欠席させていただきます。(中西厚 O H K)

欠席させていただきますが、畑仕事、ゴルフなど元気にしております。(沼本俊晴 O H K)

仕事(調停)が入って出席できません。ゴルフ会の報告は伊藤君にお願いしようと思っています。(野山眞太郎 R S K)

学区や町内の老人会からグランドゴルフを誘われています。まだまだやる気になれません。いずれ仲間入りする時が来ると思うので、嫌われないよう断り続けています。(八田典郎 山陽映画)



あと一年再雇用と町内会で頑張ることにしました。岡山支部の益々のご発展を祈っております。(花房義則 R S K)

岡山〜倉敷間を往復する毎日が続いております。往復で66Kmです。結構な時間が掛かりますので、途中でコーヒータムを取りながら・・・。現在大学では地域との連携を更に具体化するため奔走しております。(濱家輝雄 R S K)

最近家族共々体調をくずし、明日は淵瀬を思い知りました。今日一日を大切にしたいと念じています。(平田稔 R S K)

股関節が悪いのか、散歩にツエを持って歩きます。近所のスポーツプラザで水の中を歩く運動やジムに通っています。だけどゴルフにも参加しているし、年の割りに元気だと思えます。(牟松巴 R S K)

健康のために少しでも体重を動かさねばと思い、借りた田圃で農作業したり、軽い労働の伴う作業の手伝いに行ったり、ボランティア活動したりしています。一ヶ月に二十日以上家に居ない状況です!(広坂武昌 R S K)

お世話様になります。(広瀬幹 R S K)

大変お世話になってます。都合により欠席します。
(深田純生 RSK)

全国公募の洋画展へ出品するようになって、百号の絵が毎年2〜3枚ずつ増えています。今は二十枚鎖近く溜まり置き処に困るようになりました。今年も四月十六日から国立新美術館で始まる展覧会に出品しています。我が家がさらに狭くなります。(牟保博文 RSK)

老いて散歩が生きがいに。(古川廣 RSK)

なかなか平日の出席がままなりません、よろしくお願ひします。(文屋好司 RSK)

今年には都合により参加できませんが来年は参加したいと思っています。OBの皆様の健康と多幸をお祈りしています。(星島晋一郎 RSK)

幸か不幸か相変わらずの毎日です。(松田憲司 RSK)

突然の不幸に襲われたとき、目の前が真っ暗になったという表現があるが、私はそれとは逆に美味しいものを一気に食べ飲んだときに、突然目の前が黒い幕に覆われるという体験をした。医師の話では、血管が拡張し低血圧症状を起こした結果だという。念のためにMRIで脳を調べたが全く異常なし。思わず医師の前でガツポーズをして笑われた。年甲斐も無くということかも知れない。(松田通男 RSK)

先日元RSK勤務の榊原陽一郎氏(相市)が来岡、三月十七日(月)二人で乗り合い船に乗り込み、今がシーズンの小豆島の乗っ込み真鯛釣りに挑戦しました。好天と船頭の指導のおかげで、二人合わせて18〜50cmの真鯛50数尾+スズキ2本というビッグキャッチ。榊原氏は「来年もまた来る」と興奮気味に話していました。(松本熙 RSK)

何とか露命をつないでいます。(間野孝彦 RSK)
今のところ元気ですが八十三歳過ぎると毎日が勝負です。身辺の整理をしながら生活しているのが現状です。八十を越すと頭も体も想像以上にダウンします。やりたい事は早めに行う事をお勧めします。歳をとると段々子供にかえると云いますが、自分では意識

しなくても同年代の友達を見て実感します。お互いに家族には迷惑を掛けない様に人生に終止符をうちましょう。(三木栄一 OHK)



寒い冬も大過なくすごせた。しかし最近ものの本が集中して読めなくなったのが気になる。みなさんは如何。(水川勝彦 RSK)

遅ればせながら我が家のある庭瀬にも公共下水道が整備される由。やっとと思っていたら、相応の負担がかかる上に、近所の道路は工事でデコボコ。喜んでいいのやらどうやら。(向井博史 RSK)

雑用に追われながら元気にやっています。パソコンに遊んでもらっています。(森脇澄司 RSK)

いつもご案内を頂きありがとうございます。体調不良のため残念ですが欠席させて頂きます。(柳井宣二 RSK)

この冬は殊のほか冷え込んだ日が多かったのか、何か体調を崩しました。歳のせいともいえませんが、何事も無理をしない日々を送ろうと思っています。(山内英夫 RSK)

股関節の手術以来ウォーキングも制約され家にいることの多い毎日です。自然の中で暮らす時間が欲しいのですが、それかかないません。(山崎文隆 RSK)

体重68Kg↓58Kg、体脂肪率23%↓18%
ウエスト86cm↓74cm。スポーツジム通いの成果ですが、服のサイズがまったくあわなくなり、不経済も甚だしいと憤慨しております。しかしながら平泳ぎしか出来なかったのが68歳にしてクロール、背泳ぎ、バタフライと何とか泳げるようになったのは嬉しいことです。(山田伸二 RSK)

今年には四人の孫のうち三人まで新入学入園で大変物入りでした。成長も早く嬉しい悲鳴です。さらに末娘がいよいよ社会人となり、自活してくれるのでやれやれです。ただ昨年暮れに他界した義父の相続、家の後片付け、畑の作物の世話などで、このところ忙しくしております。(横田真理子 RSK)

ボケ防止の為、週4日ボランティアで社会参加しております。思いのほか多忙で、当日は予定が入っており、残念ですが失礼します。ご盛会をお祈りいたします。(横溝豊範 RSK)

パソコンとゴルフに付きあう日々が続いています。さて何時まで続けられるのか、不安がよぎる年齢を感じています。(若槻匡志 RSK)

年々歳々花相似、歳々々々人不同。浄土本願祈りながら過ごしています。寿命を感じて姿を消す猫、象の気持ちかわかる歳となりました。四月十四日は浄土思想の地平泉を妻と旅しています。(渡辺昭朗 OHK)

楽しいお買い物

菅田一郎 (RSKOB)

残少のたった二文字に血が騒ぐ

半額の弁当半分食べ残し

あの人が今日はいないかレジがず

常連と思っ行って行けばどちらさま

衣替え歳を取らない服ばかり

お勤めが終わった後はお勤め品

パンの耳周り見直しサツと買う

消費税酒の肴は見切り品

睡まじくおみくじ引けば吉と凶

断捨離の本を買っては積んでおく

今月もまた来月も店じまい

五割引元値を上げてはくそ笑む

買い溜めが趣味の我が子は誰に似た

古書市で母の歌集を見つけたり

凝り性の遺品はみんなただのゴミ



会員動向

入会・高森 敏夫さん (TSC OB)

文屋 好司さん (RSK OB)

影山 正興さん (RSK OB)

笹井 勝文さん (RSK OB)

福島 康子さん (OHK OB)

退会・市川哲也さん (RSK OB)

杉山隆嗣さん (K S B O B)

お二人は、いずれも死亡による退会です。ご冥福をお祈りいたします。

編集後記

今回は出欠葉書に多くの方々からの近況コメントが寄せられ、充実した紙面になりました。八十七名からのお便りは、これまで最高ではないでしょうか。かつて共に働いた仲間たちの近況を知ることが、それ自体ほのぼのとしまずし、自分もまたまだ頑張ろうと、勇気をもらうものにもなります。

私もそろそろこの機関紙編集を後進に・なんて少し考えていたのですが、こうして皆様からのお便りをパソコンで打ち込んでいますと、まだまだお役に立てると元気がわいて来ます。ありがとうございます。(S)